

久慈工魂

生徒の輝く姿が見える楽しい学校
久慈エプライドを持った生徒の育成



前期生徒総会

5月14日(火)に、前期生徒総会が行われ、活動方針等が承認されました。「生徒の輝く姿が見える楽しい学校」に加え、久慈工業高校の校名として最後の年であるため「久慈エプライド」の育成の実現のため、諸行事に向け積極的な意見がたくさん出されました。また、改善してほしい意見などが出され、白熱した総会となりました。一人一人の建設的な意見が学校をより良くしていきます。これからも活発な生徒会を期待します。



基礎防災訓練

5月21日(火)土砂災害を想定した基礎防災訓練を実施しました。事前告知なしで電子機械棟裏山において土砂災害が発生したと想定し、安全に避難すること、避難経路を確認することを第一目的として実施しました。その後、それぞれの各係に別れての任務確認し、さらに全体で防災教育を行いました。野田村の工藤防災官からは「土砂崩れを軽く見ず、有事には命を守る行動が大切である」との講評を頂戴しました。目標時間内に避難できたことなど、生徒の訓練に対する姿勢がとても素晴らしかったです。



芸術鑑賞会

～(声楽)混声四重奏とあそぼう「オペラってなあに?」～

5月30日(木)野田村体育館において芸術鑑賞会が行われました。野田村芸術文化協会事務局が主催し、一般来場者と共に野田村で学ぶ小中高生がオペラに親しむ機会を貰いました。4名の声楽家のオーラに圧倒されながらも、楽しむことができました。



通学路清掃(奉仕活動)



5月31日(金)、本校通学路や村内の清掃美化活動をとおして、マナーの大切さを学び、地域社会に貢献すると共に奉仕の精神を養う目的で行われました。3つのグループに分かれての活動は、コロナ禍で5年ぶりの開催となりましたが、真剣に活動する姿や、すれ違う住民の方々から感謝の言葉をいただくなど、この行事をとおして成長を実感できました。